

広報

おおの

ゆい^にの故郷 越前おおの



4月号

平成25年(2013年) NO.812

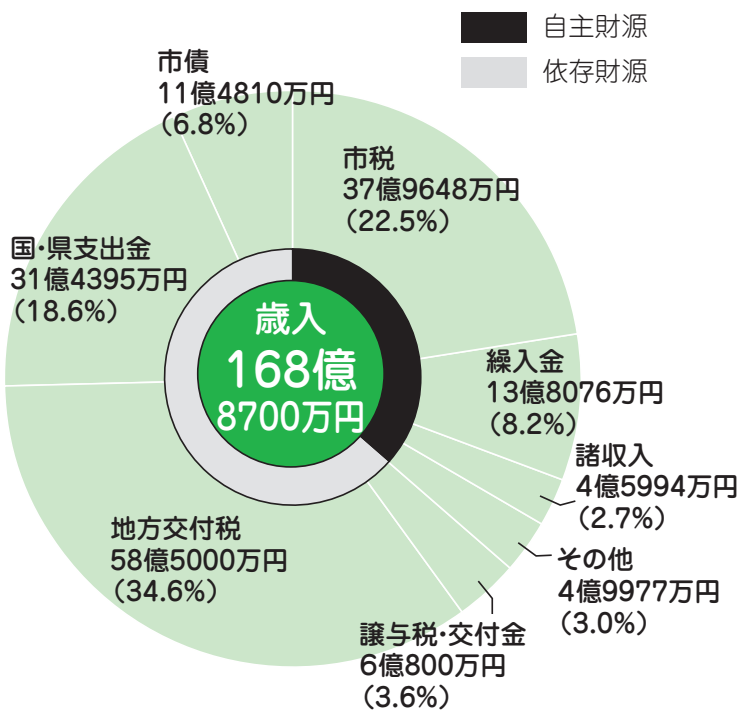


予算決まる

平成25年度当初予算が、市議会3月定例会において可決されました。一般会計の予算総額は昨年度より0.6%減の168億8700万円。

第五次大野市総合計画前期基本計画の中間年に当たる今年は、より一層の経費削減に努めながら、限られた財源で基本施策の着実な前進を目指すとともに、平成25年を「結の故郷元年」として越前おおのブランド戦略に取り組みます。

図 財政課財政係 (☎66・1111内線231)



一般会計 歳入

市税は、個人市民税が減となるものの、固定資産税やたばこ税の増により、6年ぶりに増額となりました。各施策

に感じた国などの補助金を適正に見込み、基金・市債の活用にも配慮しました。

市の借金である市債は、昨年度に比べ2億9440万円減少しました。

一般会計 歳入

目次

- P2 平成25年度予算決まる
- P6 新庁舎の設計まとまる建設着工へ
- P9 定例市議会/市役所の組織を再編
- P10 越前おおのブランド戦略を策定
- P13 中部縦貫道開通イベント
- P14 デジタル同報系防災行政無線など
- P15 結の故郷農業補助・農産物支援補助など
- P18 越前大野名水マラソン

小さい春見つけたよ

3月16日、図書館で「自然あそび」が行われました。集まった子どもたちは、山で採取された新芽の出始めた木の枝などを、匂いをかいだり、虫眼鏡でのぞいたりして、春の訪れを感じていました。

ご意見は「やまびこ」へ

市政へのご意見などは、「市民提案箱やまびこ」や「電子メールやまびこ」へお寄せください。
電子メールアドレス
yamabiko@city.fukui-ono.lg.jp

市ホームページ
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

市ホームページ
携帯電話用サイト
<http://www.city.ono.fukui.jp/i/>



用語説明

- ▼市税：市民税、固定資産税など、市に納められる税金
- ▼繰入金：積立金(基金)の取り崩しや他の会計から繰り入れのお金
- ▼地方交付税：財政力に応じて国から交付されるお金
- ▼国・県支出金：市が行う特定の事業に対して国や県から交付されるお金
- ▼市債：市の借入金(借金)
- ▼歳入
- ▼人件費：報酬や給与など
- ▼扶助費：高齢者、児童、心身障害者などを支援する経費
- ▼公債費：市の借金などを償還する経費
- ▼普通建設事業費：道路や公共施設の新増設に必要な経費
- ▼物件費：賃金や旅費、交際費、需用費など
- ▼補助費等：市から他の団体などに対して、行政上の目的で支払う経費
- ▼繰出金：一般会計と特別会計との間で、相互に資金運用をするための経費

会計別予算額

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	168億8700万円	△0.6%	
特別会計	国民健康保険	41億2750万円	1.2%
	和泉診療所	9866万円	5.2%
	後期高齢者医療	3億6908万円	△0.6%
	介護保険(保険事業)	38億680万円	2.7%
	介護保険(介護サービス)	1566万円	4.5%
	簡易水道	1億4202万円	16.7%
	農業集落排水	3億4235万円	11.9%
	下水道	10億4209万円	13.1%
小計	99億4416万円	3.4%	
水道事業	2億4240万円	△7.0%	
総計	270億7356万円	0.8%	

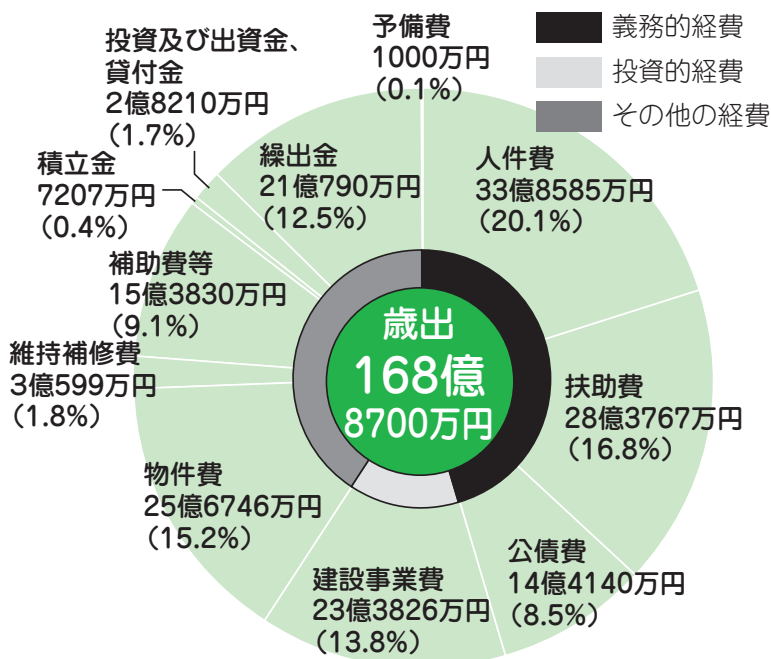
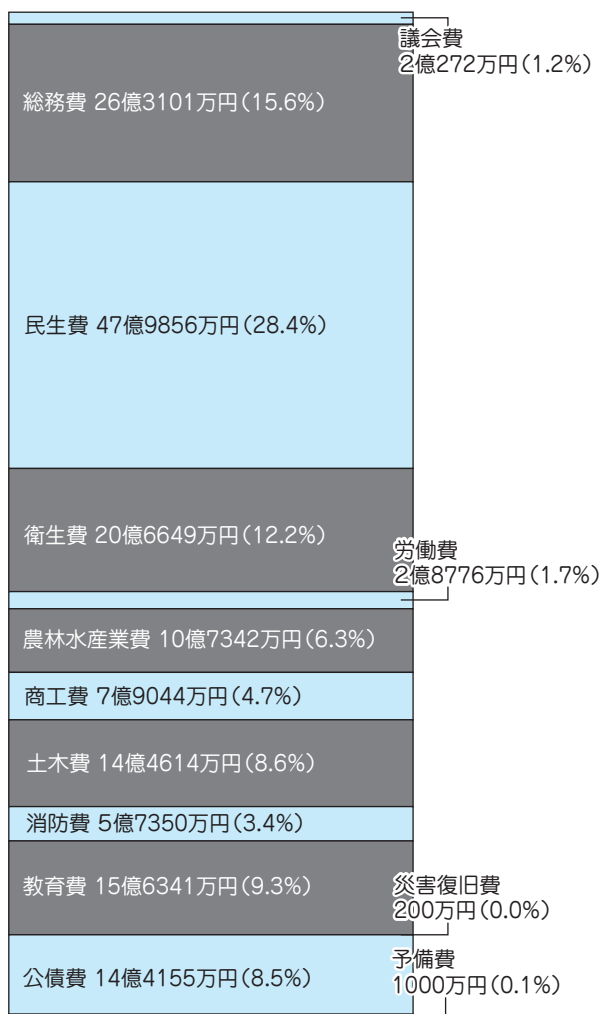
総ブランド化を目指して 平成25年度

一般会計 歳出

新庁舎建設と休日急患診療所の機能強化、平成の湯の再整備などのハード事業をはじめ、ソフト面では「結の故郷」の魅力を発見し磨き上げる事業や、「市民力」や「地域力」を高める事業を優先的に盛り込みました。

昨年度に比べて、人件費を7783万円減額するなどの一方で、扶助費を5914万円増額するなどの傾向があります。

歳出目的別グラフ



- ▼ 議会議費：市議会の運営経費
- ▼ 総務費：地域づくりや防災、管理運営経費など
- ▼ 民生費：子育て支援や福祉の充実など
- ▼ 衛生費：医療・保健の充実、ごみ対策など
- ▼ 労働費：労働者の福祉など
- ▼ 農林水産業費：農業・林業の活性化など
- ▼ 商工費：商工業や観光の振興など
- ▼ 土木費：道路・住宅・公園の整備など
- ▼ 消防費：消防、救急救命など
- ▼ 教育費：教育・文化・スポーツの充実など
- ▼ 災害復旧費：災害による被害箇所の復旧など
- ▼ 予備費：予算編成で予期しなかった支出への対応

①優しく賢くたくましい大野人が育つまち

- 国民の祝日に国旗を掲揚する運動推進事業【新規事業】 90万円
祝日の意味や成り立ちを学び、郷土愛を育み、日本文化の継承を図るため、祝日に国旗を掲げる運動を推進します。
- 越前おおの元気創造事業補助 400万円
市民が地域活性化に向け、自主的に企画・提案・実施する事業に対する補助です。
- 歴史的建造物保存整備事業 2671万円
市指定史跡「田村又左衛門家屋敷」の整備に係る経費です。

人が
元気



田村又左衛門家屋敷

②共に思いやり支え合う安全で安心なまち

- 城下町南広場整備事業【新規事業】 2072万円
(仮称)城下町南広場と防災倉庫の整備や現庁舎の解体に係る実施設計を行います。
- 地域防災計画改訂事業【新規事業】 1436万円
大野市地域防災計画を改訂します。
- 安心で明るい通学路普及事業【新規事業】 433万円
通学路におけるLED防犯灯の新規設置や一部補助です。
- 越前おおの婚活カステップアップ事業【新規事業】 483万円
婚活セミナーや結婚相談関係者の研修会を開催し、婚活イベントなどを行います。

第五次大野市総合計画の構想実現に向けた4つの柱と6つの基本目標に沿って主な事業を紹介

産業が
元気

③誰もが快適で暮らしやすいまち

- 携帯電話エリア整備事業 2315万円
宝慶寺地区に携帯電話用施設を整備します。
- 自転車を活用したまちづくり事業 2183万円
自転車走行空間の整備、真名川整備計画作成を行います。

④越前おおのの魅力あふれる活力あるまち

- 越前おおの暮らし応援事業 489万円
都市圏居住者などに越前おおの魅力を発信し、定住・交流人口の増加を促進します。
- 高齢者ゆうゆう購買促進事業【新規事業】 100万円
高齢者のゆう・ゆうバス利用や事業協賛店での買い物に応じてシールを配布し、抽選により買い物券などを贈呈します。
- 里山集約化促進事業【新規事業】 109万円
里山の森林施業を集約化するための経費・作業機械のリースやコンクリート舗装原材料費購入に対する補助です。
- 九頭竜温泉「平成の湯」再整備事業 1億387万円
平成の湯のリニューアルに係る経費です。



平成25年度主要事業



自然が元気

⑤美しく豊かな自然環境を育み継承するまち

- 有機・特別栽培農業者集団支援事業補助【新規事業】 150万円
3人以上で有機栽培などに取り組む農業者グループに、栽培機械や資材の購入を補助します。
- 化石保全活用事業【新規事業】 941万円
和泉地区化石保全活用計画に基づき、化石発掘体験会や化石アドバイザー養成事業などを実施します。
- 湧水再生対策事業 478万円
湧水文化再生推進連絡協議会の開催、木本原の水田湛水および農業用排水路浸透升の管理などを行います。

ブランド戦略に係る事業は大きく分けて2つ

●ブランド化戦略 19事業

主な事業

- 結の故郷づくり交付金事業【新規事業】 1289万円
自治会や地域づくり団体が企画・立案した事業を対象に支援します。
- 結の故郷の恵み生産促進支援事業補助【新規事業】 200万円
「越前おおの産」産地保証制度や「越前おおの里の恵み」認証制度の登録者、耕作放棄地再生者へ機械などの購入を補助します。
- 結の故郷・人づくり学習事業【新規事業】 719万円
結の故郷にふさわしい地域づくりの推進、ふるさとの伝統文化継承活動に取り組みます。

●広報戦略 6事業

主な事業

- 結の故郷イメージ確立事業【新規事業】 1826万円
結の故郷シンポジウムの開催や商標登録、宣伝グッズの作成を行います。
- 結の故郷おもてなし事業【新規事業】 460万円
まちなか遠足の誘致促進や観光消費拡大、登山客のまちなか誘導、滞在型企画旅行への助成等を行います。
- 観光まちなみ魅力アップ事業 770万円
歴史をキーワードにしたまちなか周遊の企画、おもてなし向上研修会の開催、郷土料理などの食による魅力発信などに取り組みます。

行財政改革

⑥基本構想実現に向けた行政運営

- 新庁舎整備事業【新規事業】 6億6580万円
新庁舎整備に係る経費の平成25年度分です。
- 行政改革推進事業 67万円
公共施設再編計画の策定などを行います。



新庁舎の設計まとまる 建設着工へ

市民に親しまれ、「市民が集い・憩い・学ぶ」庁舎の整備に向けて、これまで進めてきた基本計画・基本設計を基に、施設整備を具体化するための実施設計が出来上がりました。この実施設計を基に、今夏ごろに工事を開始し、平成26年11月の完成、平成27年1月の利用開始を目指します。

これまでの経過

平成23年3月

庁舎等周辺整備

基本構想を策定

庁舎等周辺整備基本構想策

定委員会※で、庁舎周辺施設の配置や整備時期など基本的な事項を決定

平成23年12月

新庁舎整備

基本計画を策定

庁舎整備基本計画等策定委員会※で、説明会やタウンミーティングで寄せられた意見・提案を基に、建物や駐車場の配置、市民サービスの考え方、平面計画、階構成などを決定

平成24年3月

新庁舎整備

基本設計の完了

基本計画策定委員会、基本計画を基に設計の基本方針を定め、外装・内装の考え方や市民ホールの設置、各階の平面、環境負荷低減手法などを決定

平成25年3月

新庁舎整備

実施設計の完了

新庁舎整備工事のための詳細な図面や工事費の積算が完了

5つの基本方針

方針1 市民に身近な庁舎

① 利用しやすい庁舎

市民が利用しやすく景観に

※庁舎等周辺整備基本構想策定委員会
市内の各界・各層の代表者や現庁舎周辺の区長、市職員で構成された委員会。市庁舎整備とその周辺の整備についての基本構想を策定。
※庁舎整備基本計画等策定委員会
基本構想を基に市庁舎整備の基本計画に市民の意見を反映させるために組織された委員会。市内各界・各層の代表者と市職員で構成し、学識経験者がアドバイザーとして参加した委員会。

配慮した低層の3階建てとします。

1階は、他の階より天井を高くし、開放的に見通しの良い空間にします。

結びおよびあの連携を高めるために、床の高さを合わせ、1階と2階を渡り廊下で接続します。

② 市民ホールを設置

市民や各種団体が、いろいろな展示やイベントに活用できる場として市民ホールを設置します。

3階の議場周辺には大野城や市街地、荒島岳などが眺望できる展望ロビーを設けます。

設計の概要

- ・ 建築面積 3444平方メートル
- ・ 延床面積 7868平方メートル
- ・ 構造 鉄骨造3階(一部屋上階)建て
- ・ 工事費 29億979万円
(建築本体、周辺外構：2年継続)





③くつろげる待ち合い空間

1階中央の待ち合いは、上部から自然の光を取り込む、吹き抜けの明るい空間にします。

寒さの厳しい冬には、床暖房やまきストーブで来庁者の寒さ対策を行います。

④透明感のある

東エレベーター

市民ホールや待ち合いの近くには、見えやすく透明感のある来庁者用のエレベーターを設置します。

⑤納付に便利な金融機関

市税や各使用料などは、正面玄関南側の金融機関出張所で納付することができます。

方針2「大野市の顔」として

①建物正面の景観

二番通りからの景観に配慮して、結とびあとの位置を合わせます。

三番通りとの間は、「市の顔」として、市民憲章や教育理念の石碑を配置し、落ち着いた空間を作ります。

②外装

建物の外壁は、市内の蔵などに使われている「下見張り」工法を取り入れ、大野らしさを演出します。

方針3「くつろげる待ち合い空間」

①ワンストップ

サービスの実現

建物の中央を待ち合いにし、両側にカウンターの設置して来庁者の移動を軽減します。

市民の利用が多い部門を1階に配置し、事務室は壁のないワンフロアで、見通しの良い分かりやすい空間にします。

②ユニバーサル

デザインの導入

各玄関付近にハートフル駐車場や屋根付きの障害者用駐車場を設けます。

各玄関に、インターホンを設置し、歩行が困難な人を職員が補助します。

受付カウンターの座つて手続きができる低いタイプを基本とするとともに、課名や業務内容を分かりやすい場所に表示します。

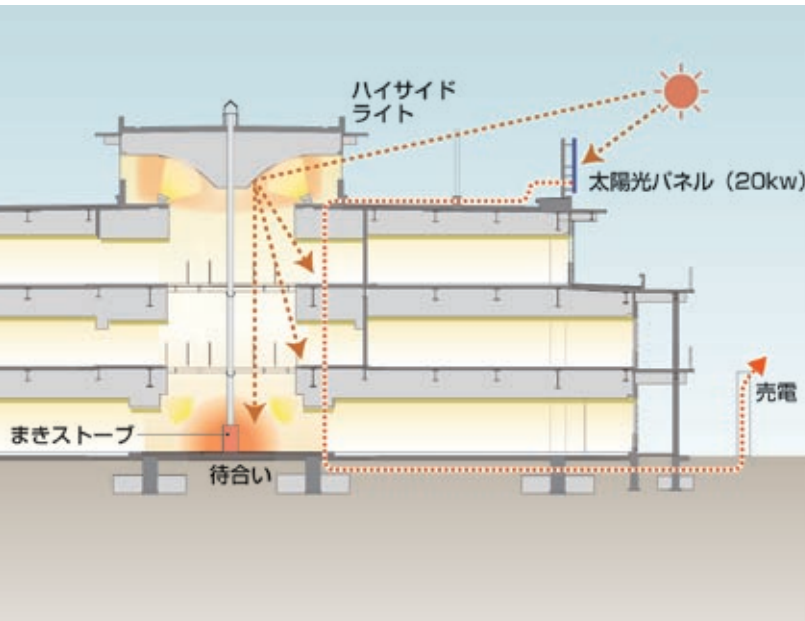
1階と2階の多目的トイレには、障害のある人や介護が必要な高齢者も使用できるユニバーサルベッドやオストメイト用設備を設置します。



まきストーブが設置された待ち合い



展示やイベントに活用できる市民ホール



まきストーブ・太陽光発電などのイメージ



市民利用の多い部門を集めた1階の事務室

- ③プライバシーの保護
個人情報を取扱う窓口は、カウンターを仕切り、安心して手続きや相談ができるようにします。相談室では、納税や消費者相談などに使われます。
- 方針4 地球に優しく**
- ①省エネルギー対策
庁舎外周部に庇を配置し、来庁者を雨や雪から守り、日光をさえぎり冷房に掛かる電力を軽減します。
20キロワット相当の太陽光発電システムを導入し、二酸化炭素の排出量を削減します。
省エネ効果の高いLED照明を採用し、ランニングコストを節約します。
②水環境の保全
水槽を設置して雨水を集め、トイレの洗浄水に利用するなど、水資源の保全を図ります。
- ③地場産木材の活用
市民ホールや待ち合いには、市内の豊富な森林資源を活用し、温かく安らぎを感じる内装に仕上げます。
- 方針5 災害に強く 安全で安心な庁舎**
- ①地震に強い構造
防災拠点として地震に備え、耐震構造で、柱の少ない広い空間を確保できる鉄骨造とします。
- ②水害にも対応
水害に備え、電気室やサーバー室などの重要設備を3階に配置します。
- ③迅速な災害対応
大規模な災害時に速やかに災害対策本部を設置できるように、防災防犯課の隣に会議室を配置します。
停電となった場合にも備え、72時間連続運転が可能な非常用発電設備を設置し、迅速な被災者支援が行えるよう配慮します。
- ☎ 建築宮繕・庁舎整備課
庁舎整備推進室
(☎ 66・1111)

定例市議会 議長、副議長決まる

第383回定例市議会が、3月4日から25日まで開かれました。議長、副議長の選挙が行われ、議長に松原啓治氏、副議長に兼井 大氏を選出。各常任委員会や議会運営委員会委員の選任も行われました。

松原氏は、平成15年に市議会議員に初当選。第44代副議長を務めたほか、総務文教常任委員会の委員長などを歴任し、現在3期目です。兼井氏は、平成11年に市議会議員に初当選。産経建設常任委員会の委員長などを歴任し、現在4期目です。



松原 啓治 議長



兼井 大 副議長

各常任委員会・議会運営委員会の構成 (敬称略。◎は委員長、○は副委員長)

議会運営委員会	常任委員会		
	民生環境	産経建設	総務文教
○◎ 榮 砂 畑 永 山 川 本 子 中 田 崎 端 田	○◎ 浦 兼 藤 梅 砂 山 井 井 堂 林 子 崎	○◎ 島 川 宮 松 石 高 口 端 澤 田 塚 岡	○◎ 榮 畑 本 松 永 前 中 田 原 田 田
正 三 章 正 利 義 夫 郎 男 幸 昭 秀 章	智 勝 厚 三 利 治 大 義 子 郎 昭	敏 義 秀 元 淳 和 榮 秀 樹 榮 子 行	正 章 啓 正 政 夫 男 章 治 幸 美

平成25年4月からの行政組織機構

部・局	課 室
企画総務部	秘書課
	行政戦略課
	ブランド推進室
	情報広報課
	総務課
	自治振興室
	監理検査室
	財政課
	税務課
	防災防犯課
民生環境部	市民生活課
	福祉こども課
	健康長寿課
	上下水道課
産経建設部	産業振興課
	中心市街地活性化室
	農業農村振興課
	農林整備課
	観光振興課
	建設整備課
	湧水再生対策室
	都市計画室
	幹線道路課
	建築営繕・庁舎整備課
	庁舎整備推進室
和泉支所	住民振興課
	教育総務課
教育委員会事務局	社会教育課
	文化課
	市史編さん室
	スポーツ課
	国体準備室

このほかの部署に会計課、議会事務局、行政委員会事務局、農業委員会事務局、消防本部があります。

市役所の組織を再編

4月から市役所の機構が一部変わりました。これは、業務分担の見直しや集約化などにより組織をスリム化し、機動的かつ効率的な行政運営を図るために行ったものです。

市長部局の再編

これまでの市長部局にあって5部局を再編し、3部にしました。秘書政策局と総務部を統合し企画総務部に、市民

福祉部の業務に上下水道関係業務を加え民生環境部とし、産業経済部と建設部を統合し産経建設部としました。

各課等も変更

課の再編等により、次のとおりとなりました。

▼監理検査課→総務課監理検査室

▼市民課、くらし環境課→市民生活課

▼上下水道課、下水道課→上下水道課

▼建設課→建設整備課

▼都市計画課→建設整備課都市計画室

▼庁舎整備課、都市計画課の一部→建築営繕・庁舎整備課

☎ 総務課職員係
(☎ 66・1111 内線241)

越前おおのブランド戦略を策定



岡田市長に報告書を手渡す南保勝委員長(右から2番目)と中出良一副委員長

結ゆいの故郷くに

越前おおの

キャッチコピー

市では、第五次大野市総合計画に掲げる基本目標の一つ「越前おおのの魅力あふれる活力あるまち」の中の基本施策「越前おおの総ブランド化の展開」を具体化するために、越前おおのブランド戦略を2月に策定しました。

「越前おおの総ブランド化」とは、市が誇る魅力ある資源の全てを越前おおのブランド

として磨き上げ、市全体としてのイメージを市内外に発信することで、市民が地域に自信を持つとともに、市民所得の向上につなげていくこととするものです。

この戦略は、まちのイメージ向上を図ることを目的として、越前おおのの魅力を磨き発信するブランド化への取り組みの、基本的な方向性を定めています。

平成24年5月から今年2月までの間に、委員19人による越前おおのブランド戦略策定委員会を7回開催。市のイメージや地域資源に関するアンケート調査や聞き取り調査の結果を基にしながら、戦略

をまとめ、報告書として市に提出しました。

この戦略の計画期間は、平成25年度から平成34年度までの10年間とし、前半の5年間で重点期間として取り組みます。

キャッチコピーを決定

「結」という言葉には、昔の村の生活の中で、田植えや稲刈りなどの農作業、狩猟や植林などの山仕事、道路を直したり橋を付け替えたりなどの修繕、冠婚葬祭などのいろいろな仕事をお互いに助け合う習慣の意味があります。

古くから、越前と美濃を街道で結んだり、幕末の時代に大野藩の財政危機を救うため、大野屋が越前おおのと全国各地を結んだりした実績も

あります。これまでの歴史において、越前おおのが地域と地域を結び役割を築いてきたことに加え、現代では、「広域観光の展開」や「姉妹都市・友好交流市などとの交流」、「中部縦貫自動車道の整備」による日本海側と太平洋側の産業や経済の循環「などの各地域の活性化に結びつく役割も担っています。

このように、生活や地域が結び付きながら、ゆつくりと営んできた越前おおのを、結が詰まった一つの故郷(くに)として表現し、キャッチコピーに決めました。今後、市全体のイメージとして、市内外に強く打ち出していきます。

行政戦略課ブランド推進室 (☎66・11111 内線4334)

取り組みの具体的な目標は、 地域ブランド調査の全国順位アップ

平成24年度は、
認知度 815位 → 認知度 200位以内
魅力度 790位 魅力度 400位以内

地域ブランド調査とは・・・1047の地域(1000市町村と47都道府県)を調査対象とし、全国3万人以上が各地域のブランド力を評価する消費者調査です。認知度や魅力度、イメージ、観光、居住、産品購入の意欲などを消費者視点から調査・分析し、評価します。

コンセプト

歴史・文化・伝統のブランド化

「結」が息づく歴史を磨き上げ、現代に活用します。守り伝えてきた文化・伝統を継承し、新たな文化を創出し育てます

大野人(おおのびと)のブランド化

明倫の心を重んじ、市民が自ら発信し、伝え、もてなす結の精神を育てます。互いに支え合い、安心して住み続けられる環境をつくります

分野別 戦略

ブランド化のための分野間連携

「大野人」「歴史・文化・伝統」「自然環境」「食・地場産品」を連携させて、相乗効果による戦略の推進を図ります

自然環境のブランド化

結の故郷を彩る四季や里山、自然の魅力を磨きます

食・地場産品のブランド化

食材や加工品、製品などの提供体制を整備し、独自の食・地場産品の魅力を磨き、来訪者に伝えます

ブランド・コンセプトを柱に2つの戦略

結の故郷の浸透

市内にキャッチコピーを浸透させ、全国に向けて積極的なイメージ戦略を実施します

地域ブランド・チャンネル

インターネットやマスメディアを活用します。中京圏に案内看板や情報拠点を整備します

広報 戦略

地域ブランド・デザイン

結の故郷にストーリー化し、大野を「知る」ことから「関係作り」に至るまでをシナリオ化します

地域ブランド・コンテンツ

ブランドとなる資源や体験メニューを分かりやすく伝えるために、情報を集約、一本化して整備します

「人を結び、時を結び、地域を結ぶ」
このことは、あなたの心のふるさとです

結の故郷シンポジウム開催

越前おおのブランド戦略を市民の皆さんに知っていただくために、シンポジウムを開催します。さまざまな角度から越前おおのブランドを推進していくための糸口を学び、これからどのように取り組んでいかなければならないかを一緒に考えましょう。ぜひご来場ください。

日時 4月14日(日)午後1時～4時30分(午後0時30分(開場))

場所 文化会館

内容

○越前おおのブランド戦略概要報告
○基調講演

テーマ 日本再生への提言
強く美しい日本の未来に向けて

講師 学校法人

JET日本語

学校理事長

金 美齢さん

○パネルディス

カッション

テーマ 結の故郷を創り上げ



ていくために

コーディネーター 福井新

聞社論説委員長 北島三

男さん

コメンテーター 金 美齢

さん

パネリスト 福井県立大学

地域経済研究所教授 南

保勝さん、大野商工会議

所会頭 稲山幹夫さん、

世界醤油カツ井機構事務

総長 野村明志さん、旅

館ふじや若女将 齋藤

貴子さん、大野市長

岡田高大

入場料 無料

○行政戦略課ブランド推進室 (☎66・1111内線434)

越前おおのブランド発信 県外での宣伝活動に補助

対象者 市内に在住か、市内の事業所に勤務する3人以上で組織する団体、または市内に所在地がある事業所

対象事業 越前おおのブランドを全国に発信し、強く印象付けて誘客を図る事業。啓発活動や物産販売活動など、対象者が自ら県外で実施する活動事業のうち、他の補助事業の対象となっていないもの

補助対象経費

- ①旅費 交通費と宿泊費
- ②手数料 出店などに係る負担金や検査手数料、保険料、申請料など
- ③広告費 誘客を促進するための広告宣伝費など

補助限度額 補助対象経費の2分の1以内で、上限額は10万円

提出書類 事業計画書と収支予算書のほか関係資料。様式は行政戦略課に設置。市ホームページからも入手可能

応募方法 行政戦略課へ郵送か持参

締切 5月24日(日)午後5時(必着)

その他 応募のあった事業内容を選考して、採否を決定す

る。結果は、6月上旬に全ての応募団体に連絡し、提出された書類は返却しない

○行政戦略課ブランド推進室 (☎66・1111内線433) 〒912-8666 (住所は書かなくても届きます)



平成大野屋本店の新番頭を募集

平成大野屋番頭会は、全国各地にいる大野姓の支店主との交流や、市内で開催される各種行事への参加を通して、まちづくりに楽しく、積極的に取り組んでいます。年2回発行する平成大野屋マガジン『おおのじかん』の企画・編集も行っています。

あなたも番頭会のメンバーになりませんか。まちづくりや平成大野屋事業に興味のある20歳以上の人なら誰でも参加できます。

募集人員 若干名

募集期間 4月1日(日)～16日(日)

応募方法 平成大野屋事業ホームページにある申込用紙に必要事項を記入して行政戦略課に郵送または持参

○行政戦略課ブランド推進室 (☎66・1111内線433)

ホームページ <http://jigyo.h-onoya.co.jp/> 〒912-8666(住所は書かなくても届きます)

中部縦貫道 開通プレイベント



中部縦貫自動車道の大野インターチェンジから勝山インターチェンジまでの7.8キロが、3月24日に開通するのを前に、交通事故を想定した訓練や市民参加のイベントが開催されました。開通式の様子などは5月号でお知らせします。

7.8キロをウォーク

3月17日、勝山インターチェンジから大野インターチェンジまでのハイウェイウォークが開催され、市民ら2000人以上が参加しました。スタートとなる勝山インターチェンジで行われた開会式の後、参加者は、自動車専用道路を歩けるのはこの機会だけと、思い思いのペースで、道路上からの景色を楽しみながらゴールを目指して行きました。大野インターチェンジでは、地元特産品の販売なども行われました。

家族と親戚7人で参加した大矢戸の山下俊彦さんは、「今日はいい天気で暑いくらいでしたが、小矢戸トンネルの中は涼しくて気持ちよかったです」



路上で訓練

3月15日、小矢戸トンネル内上り線で、マイクロバスが

す。これからは、この道路を利用して福井市などに行きたいと思っています。残りの区間も早く開通して、もっと便利になってほしいですね」と話してくれました。

乗用車に追突し、乗用車から出火、多数のけが人が出たとの想定で、事故対応訓練が行われました。消防、警察、道路管理者などの関係機関が参加し、消化・救助や交通規制、ヘリコプターの離着陸などの訓練を通して、それぞれの役割や相互の協力体制を確認しました。

図 幹線道路課幹線道路係
(☎66・11111 内線371)



大野ICにつながる「横枕新橋」

大野インターチェンジにつながる国道157号で、横枕区内の清滝川に新しく橋が架けられました。地区住民の意見から横枕新橋と名付けられ、地元高校生の石田咲子さんが書いた橋と川の名前が、銘板として製作されて取り付けられています。



「とても貴重な経験で、いい記念になりました」

デジタル同報系防災行政無線 全局の運用を開始

市内114箇所に設置

平成23年度から2カ年で整備を進めてきたデジタル同報系防災行政無線の工事が完了し、本年4月から市内114箇所の屋外スピーカー局の運用を開始しました。

同報系防災行政無線とは

大雨や台風、地震などの災害に関する情報や一刻を争う事態に関する緊急情報などを、無線放送でスピーカーから皆さんに一斉に伝えるシステムです。

J-ALERTと連携

全国瞬時警報システム(J-



ALERT)と連携し、国が発信する緊急地震速報や外部からのミサイル攻撃などの緊急情報を速やかに放送することができます。

和泉ケーブルネット ワークとも連動

システムは、和泉ケーブルネットワークの音声告知放送と連動し、地区全域に同じ情報を伝えることができます。

テレホンサービスの 開始

屋外スピーカー局の放送を聞き逃した場合には、防災無線テレホンサービスで放送内容を確認することができます。(☎66・1127)

試験放送の実施

4月10日(金)午前10時から試験放送を行います。今後は、毎月10日前後の平日に放送します。

☎ 防災防犯課防災防犯係
(☎66・1111内線4600)

伝統的民家の新築や改修に助成

市では、良好な景観の推進を図るため、基準に適合した伝統的民家の新築や改修に助成を行っています。平成25年度(4月～26年3月)に新築や改修を行う予定があり、助成を希望する人は、4月12日(金)までに希望調書を提出してください。助成金の詳細や希望調書の様式などについては、問い合わせください。

助成希望者が多い場合、対象者の選定を行います。

主な助成の制限

(共通事項)

- 対象物件は、市が定める基準を満たすものとします
 - 施工者は、市内の事業者とします
 - 屋根のみの改修は、助成の対象としません
 - 10年間は、保守や管理に努めるものとします
- ☎ 建設整備課都市計画室
(☎66・1111)

結の故郷まちなか町家暮らし支援事業

中心市街地で、「町家型住宅」を新築・改修する場合に外観工事費の一部を助成します。

助成対象	種別	助成金額
町家型住宅 (店舗含む)	新築	外観工事費の2分の1 限度額100万円
	改修	外観工事費の2分の1 限度額200万円
町家型 共同住宅	新築	外観工事費の2分の1 限度額400万円 (1戸当たり50万円限度)

※角地の町家型住宅については、補助限度額が新築125万円、改修250万円になります(共同住宅は除く)



【町家型住宅の例】

越前おおの伝統的民家普及促進事業

中心市街地以外で、「町家型住宅」か「農家型住宅」を新築・改修する場合に外観工事費の一部を助成します。

助成対象	種別	助成金額
町家型住宅 農家型住宅	新築	外観工事費の2分の1 限度額100万円
	改修	外観工事費の2分の1 限度額200万円

※角地の町家型住宅については、補助限度額が新築125万円、改修250万円になります

【農家型住宅の例】



結の故郷農業補助・農産物支援補助

結の故郷農村集落活性化事業補助

集落において、「私たちの集落ビジョン」を実現するための取り組み、そのほか集落の活性化や集落営農の活発化を図る取り組みを助成します。

補助金額 補助対象経費の3分の2以内で、1組織当たり上限30万円。3年間継続した取り組みに支援（複数集落で取り組む場合は、1集落当たり上限20万円）

対象者 集落、農家組合、農業生産法人など

対象内容 組織が農業および農村を活性化するために自主的に取り組む活動に要する経費

結の故郷の恵み生産者支援事業補助

「結の故郷の恵み」(市の特産物)の栽培に積極的に取り組む小規模農家などに、機械や施設の導入を支援します。

補助金額

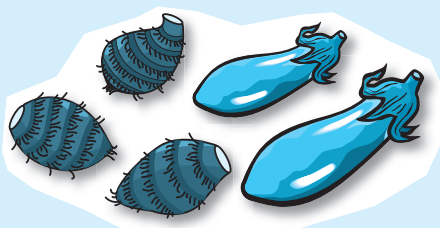
- ①「越前おおの里の恵み」認証制度に登録する(している)場合、補助率3分の2以内で上限30万円
- ②「越前おおの産」産地保証制度に登録する(している)場合、補助率3分の1以内で上限20万円
- ③耕作放棄地で栽培する場合、①②に関係なく補助率3分の2以内で上限20万円

対象者 小規模農家(認定農業者、農業生産組織の構成員を除く)やその農家で構成された生産者グループ

対象作物・機械・施設 作物は、サトイモ、ナス、キク、穴馬かぶら、穴馬スイートコーン。機械・施設は、防除機、堆肥散布機、選別機、畝立機、溝掘機、格納庫、野菜保管庫など

締切 2事業とも7月31日(日)

☎ 農業農村振興課農政係 (☎66・1111内線314)



農産物加工販売支援事業補助

市内で生産された農産物の加工や販売に取り組む農家などに、施設や機械の導入を支援し、農産物加工品の販売に奨励金を交付します。

補助金額 施設等整備の補助額は、補助対象経費の2分の1以内で、1組織当たり施設整備が上限200万円。機械整備が上限100万円。奨励金は、1年目は販売額の10%、2年目は販売額の7%、3年目は販売額の5%を交付

対象者 農産物の加工や販売に取り組む、農家や生産者グループ、法人など

対象加工品・施設・機械 加工品は惣菜品や味噌加工品、米粉パン、漬物など。施設・機械は、加工施設(室)や冷凍(蔵)庫など

有機農業推進事業補助

安全で安心な農産物の生産を振興するため、認定機関から有機JAS認定を取得する際に掛かる費用を助成します。

補助金額 有機JASの認定取得に掛かる費用の2分の1以内を助成。上限5万円

対象者 市内に住所がある農業者や、農業者で組織する営農集団

里芋生産拡大支援事業補助

市の特産作物であるサトイモの栽培面積の拡大に取り組む農家などに、機械の導入を支援します。

補助金額 補助対象経費の2分の1以内で、1組織当たり上限100万円、下限25万円

対象者 次の規模拡大を行う個人農家(認定農業者を除く)やその農家で構成された生産者グループ、法人、集落営農組織

- ①作付面積が17%未満の場合は、20%以上に拡大
- ②作付面積が17%以上の場合は、1.2倍以上に拡大

対象機械 管理機や定植機、畝立機など

締切 3事業とも7月31日(日)

☎ 農業農村振興課生産振興係 (☎66・1111内線317・318)

矢ばなの里 かたくりまつり

期間 4月21日(日)まで

時間 午前8時30分～午後4時

場所 矢ばなの里(矢地区)

入園料 高校生以上300円、
団体(15人以上)1人200円

☎ 矢花まつり実行委員会 (☎66・5949)

ホームページ <http://www.yabanenet.com>

春一番コンサート

(フルートとキーボードの演奏)

日時 4月14日(日) ①午前11時、
②午後0時15分、③午後1時30分

演奏 デュオドルチェ

